

令和7年度の政策・予算に関する三重県知事への要望

三重県商工会議所連合会

三重県商工会議所連合会（会長 伊藤歳恭）は、令和6年9月5日（木）、三重県へ令和7年度の政策・予算に関する要望を行いました。

当連合会からは県内12商工会議所の会頭・専務理事等、24名が出席、三重県側は一見勝之知事をはじめ関係部局から11名が出席し、伊藤会長から一見知事に要望書を手渡しました。



▲一見知事へ要望書を手渡す伊藤会長

伊藤会長は、挨拶の中で「中小企業、小規模事業者にとって、国際情勢や円安など環境変化への対応、原材料高、人手不足、賃上げや取引価格の適正化等、多くの経営課題が存在している、各商工会議所の支援体制の強化は待ったなしの状況であり、多岐にわたる要望をさせていただきますので、各地域の声をお聴き取りいただきたい」と述べ、その後、喜多専務理事から要望概要を説明し、出席の会頭・副会頭からそれぞれ地域課題等、提言・要望を発言しました。

一見知事は要望及び各会議所の発言に対し、きめ細かなコメントを述べられました。



▲提言・要望活動の様子



▲挨拶をする伊藤会長